

神戸市立灘さくら支援学校

〒657-0855 神戸市灘区摩耶海岸通2丁目2-2

TEL : (078) 802-1200

FAX : (078) 802-1205

ホームページ <https://www.kobe-c.ed.jp/nds-se>



特別支援学校（灘さくら支援学校）と小学校（灘の浜小学校）が同一敷地内に位置しています。

1. 教 育 目 標

(1) 理念

ともに学び ともに育ち 自分らしく生きる

(共生社会の一員として生きる力を育成し、個性の伸長を図る)

(2) 目指す学校像

- ・一人一人を大切にし、思いやりとやさしさがあふれる学校
- ・一人一人に応じた多様で柔軟な学びを創造する学校
- ・一人一人がきらめき、保護者、地域から愛される学校

(3) 学校教育目標

- ・集団や社会の中で仲間と共に学ぶ児童生徒を育てる。
- ・自分と向き合い、自ら考え、判断し、意欲的に活動する児童生徒を育てる。
- ・家庭や地域の中で自分の役割を果たそうとする児童生徒を育てる。

(4) 学部目標

- 【小学部】
 - ・仲間と過ごす楽しさや喜びを味わい、人とのびのびかかわる児童を育てる。
 - ・自分の好きなことや得意なことを見つけ、わくわく遊び、学ぶ児童を育てる。
 - ・身近な人とふれあうなかで自分らしさに気づき、いきいき活動する児童を育てる。
- 【中学部】
 - ・仲間を大切にし、認め合いながら共に学ぶ生徒を育てる。
 - ・さまざまな経験を通して自分と向き合い、自ら選択・決定し、活動する生徒を育てる。
 - ・家庭や地域の中で周りとのつながりを意識し、自分らしさを実現する生徒を育てる。
- 【高等部】
 - ・仲間と学び合いながら関わりを深め、自ら発信する生徒を育てる。
 - ・社会に活かせる思考力や判断力を培い、個性を大切にする生徒を育てる。
 - ・自分の役割を实践し、生きがいをもって、自ら地域社会とかかわる生徒を育てる。

(5) 学校経営基本方針

- ・灘の浜小学校の児童と灘さくら支援学校の児童生徒の相互理解を深め、交流及び共同学習を推進する。
- ・青陽灘高等支援学校とのつながりを考慮した教育活動を推進する。
- ・望ましい社会参加を目指し、一人一人に応じた自立活動の充実を図る。
- ・発達段階に応じた教育活動を推進し、学部経営の充実を図る。
- ・地域資源を活用し、安全で安心できる環境の整備や危機管理体制の充実を図る。
- ・保護者、地域、関係機関と連携し、地域における特別支援教育を推進する。

2. 設置学部

- 【知的障害部門】 小学部・中学部
- 【肢体不自由部門】 小学部・中学部・高等部

3. 対象の児童生徒

- (1) 下記①②に該当する知的障害のある者で、本校での教育を希望し、それが適切と考えられる児童生徒
 - ① 東灘区(本山・住吉・御影・向洋中学校区)、灘区、中央区に居住する児童生徒
 - ② 小・中学部、学齢児童生徒
- (2) 下記①②③に該当する肢体不自由のある者で、本校での教育を希望し、それが適切と考えられる児童生徒
 - ① 東灘区、灘区、中央区に居住する児童生徒
 - ② 小・中学部は、学齢児童生徒
 - ③ 高等部は、特別支援学校中学部及び中学校を卒業又は卒業見込みの者

4. 教育上の特色

(1) 教育内容

- ・知的障害部門と肢体不自由部門を併置する特別支援学校として、また、小学校と合築する特別支援学校として、教職員の連携・協力のもと学部運営を行い、子供の相互理解を深め、共に学び育つ指導の工夫をする。
- ・障害の特性や発達段階を踏まえ、複数の教育課程を編成する。
- ・小中高の系統性を考慮した一貫性のある教育課程を編成する。

(2) 施設設備等

- ・小学校との交流及び共同学習を行うため、行き来しやすいよう校舎がつながっている。
- ・コンピューター等の情報機器の活用による学習活動の充実を図るため、ICT環境を整備している。
- ・障害特性に応じた指導を行うため、感覚学習室、動作学習室、自立活動室、スノーズレン室を設置している。

5. 応募の手続き

知的障害部門	肢体不自由部門
(1) 第1回 学校説明会 令和6年5月14日(火) 令和6年5月23日(木) ・学校見学を含みます。	
(2) 第2回 学校説明会 令和6年9月4日(水) ・学校見学を含みます。	
※上記の学校説明会は、3日行いますが、3日とも同じ内容になります。 できるだけ、第1回にご参加ください。	
(3) 入学相談 第1回 学校説明会参加者：令和6年7月29日(月)・30日(火)・31日(水) 第2回 学校説明会参加者：令和6年10月7日(月)・8日(火)・11日(金)	
(4) 願書受付期間 令和6年10月29日(火)・30日(水)・31日(木) 17:00まで 灘さくら支援学校へ提出	
(5) 入学時の健康診断 令和6年12月5日(木)	(5) 入学時の健康診断 令和6年12月5日(木)
	(6) 体験入学 小学部のみ 令和7年1月～2月午前～給食
(6) 入学前保護者説明会 令和7年2月12日(水)	(7) 入学前保護者説明会 令和7年2月12日(水)

※実施の可否や詳細についてはホームページ等で最新情報をご確認ください。

6. 入学決定まで

- (1) 専門医、専門家、その他関係機関の診断や相談、教職員による観察を行います。
※前頁、「5. 応募の手続き」の「(5) 入学時の健康診断」の日程
- (2) 入学決定通知は、保護者宛てに文書でお知らせします。(令和6年12月上旬 予定)

7. 諸費用

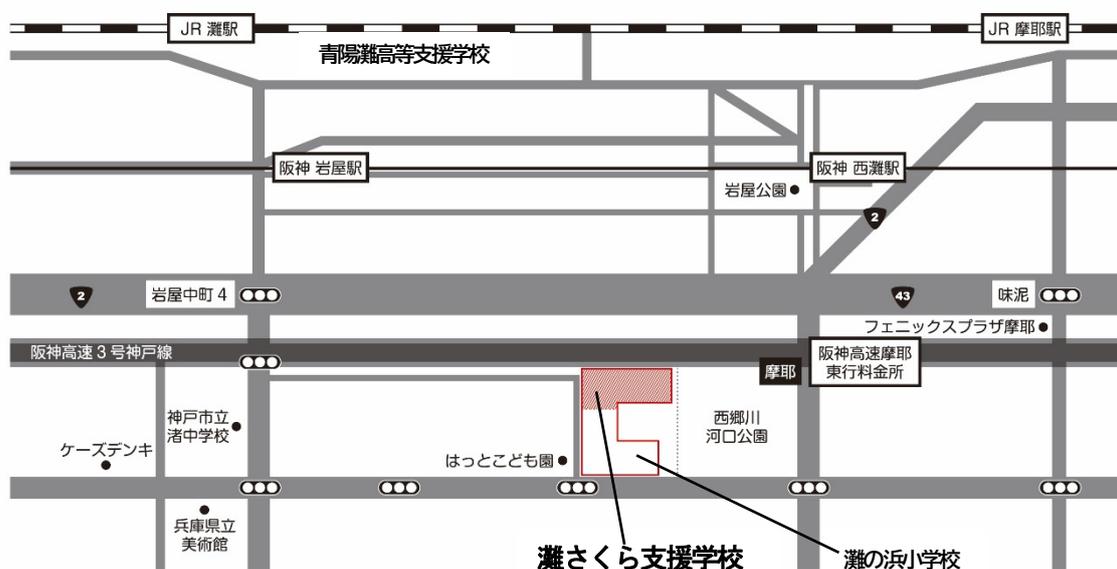
- (1) 入学に関する費用のうち、授業料、教科書代（高等部は就学奨励費により）は無料です。
- (2) 通学バスの経費は、無償です。自力通学者の交通費は、就学奨励費等の規定に基づいて支給されます。
- (3) 給食費、校外学習費、学用品費、通学付添費などは、所得の状況により補助（就学奨励費）が受けられます。
- (4) その他、毎月納入する諸費用は、学習費、積立金、安全互助会費等です。

8. 学校所在地

神戸市灘区摩耶海岸通2丁目2-2

■阪神岩屋駅・西灘駅から徒歩約10分

■JR 灘駅・摩耶駅から徒歩約15分



9. 通学方法

①自力通学 ②保護者の付添通学 ③スクールバス（ジャンボタクシー）通学があります。
個別の状況を考慮し、スクールバスの利用は、相談のうえ決定します。

肢体不自由訪問教育部

1. 施設訪問

(1) 対象児童生徒

《小学部・中学部》

- ・神戸医療福祉センターひだまりに入所している児童生徒。
- ・サポートハウスココロネ住吉に入所している児童生徒。

《高等部》

- ・神戸医療福祉センターひだまり・サポートセンターココロネ住吉に入所している生徒で、特別支援学校中学部・中学校を卒業見込みの者、及び特別支援学校中学部・中学校の課程を修了した者。

(2) 施設

- ・ひだまり学級 〒651-0077 神戸市中央区日暮通5丁目5-8 神戸医療福祉センターひだまり内
- ・ココロネ学級 〒658-0063 神戸市東灘区住吉山手5丁目1-1 サポートハウスココロネ住吉内

(3) 教育上の特色

- ① 少人数グループや1対1で授業を行います。
- ② 自立活動を主とし、その他必要な教科等について指導します。
- ③ 必要に応じて本校の学校行事や交流授業にも参加します。

(4) 応募の手続き

- ① 入級を希望する場合は、学校長、訪問教育担当教員、医師とよく相談してください。
- ② 入級手続きなどは訪問教育担当教員が説明します。

(5) 訪問の回数・時間等

- ・毎週2～3回程度の訪問。
- ・1回の訪問は80～100分程度。

(6) 諸費用

学習費、スポーツ振興センターなどが必要になります。

2. 在宅訪問

(1) 対象の児童生徒

《小学部・中学部》

次の①、②、③に該当する学齢児童生徒。

- ① 肢体不自由がある。
- ② 本校B部門の通学区域内に居住している。
- ③ 障害の状態により通学して教育を受けることが困難である。

《高等部》

次の①、②、③に該当する特別支援学校中学部・中学校を卒業見込みの者及び特別支援学校中学部・中学校の過程を修了した者。

- ① 肢体不自由がある。
- ② 本校B部門の通学区域内に居住している。
- ③ 障害の状態により通学して教育を受けることが困難である。

(2) 教育上の特色

- ① 1対1を基本とした指導体制で、一人一人に応じた教育活動を行います。
- ② 児童生徒の障害の状態に応じて自立活動を主とし、その他必要な教科等について指導します。
- ③ 本校の学校行事や交流授業に参加することもあります。

(3) 訪問の回数・時間等

- ・週2回程度、訪問します。
- ・1回の訪問で約2時間の学習指導を行います。
- ・上記を原則としますが、本人の身体の状態等により、保護者の方と相談して回数・時間を変更することもあります。

(4) 諸費用

- ・学習費などが必要になります。